

モデルカリキュラム(国語) 1年

指導時期		国語		情報活用(○)・学校図書館活用(◎)			
学期	月	単元	めあて・単元目標	学習活動の概要	ねらい	活用場面・方法	学校図書館資料
2	11	のりものことをしらべよう 教材文「いろいろなふね」東京書籍1年下	【国語への関心・意欲・態度】 ・乗り物に興味を持って教材文を読んだり、好きな乗り物について調べたりしようとする。 【読むこと】 ・乗り物の「しごと」「つくり」「できること」を表すだいな言葉や文を見つながら書き抜くことができる。 ・好きな乗り物について調べるために、乗り物について書かれた本や文章を選んで読むことができる。 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】 長音、拗音、促音、撥音や助詞の「は」「へ」「を」を正しく使って、「のりものずかん」を書くことができる。	第一次 学習の見直しをもつ 2時間	【例示された探究モデルをすることで、見通しと意欲をもつ】 【いろいろな乗り物のブックトークを聞き、興味・関心をもって学習しようとする】	＜一斉学習＞ ○教員の「のりものずかん」の完成形を見て、これからの学習の見直しをもつ。 ＜一斉学習＞ ◎学校司書による乗り物の本のブックトーク、司書教諭による本の見方の指導を受け、並行読書への意欲をもつ	・いろいろな乗り物(自動車)の図書資料 ・本の見方(目次、文字の大きさによる情報収集の仕方)に関わる指導資料
				第二次 教材文を読み取る 6時間	【並行読書をすることで、興味や知識を広げる】 【教材文をから「しごと」「つくり」「できること」について書き抜く】	＜個別学習＞ ◎ブックトークで紹介された本など、興味をもった乗り物についての本を読む。 ＜個別学習＞ ○必要な部分の書き抜き方を知り、ワークシートに書き抜く。	・いろいろな乗り物(自動車)の図書資料
				第三次 「のりものずかん」をつくる 5時間	【自分が選んだ乗り物の、「しごと」「つくり」「できること」について、本から書き抜き、「のりものずかん」をつくる】 【できた「のりものずかん」について紹介し合い、感想を伝え合い、振り返る】	＜個別学習＞ ○本からの書き抜きの仕方を学び、ワークシートに書きぬく。 ＜ペア学習＞ ○書き抜いたところについて、確認し合う。 ＜個別学習＞ ○書き抜いたワークシートをもとに自分の「のりものずかん」をつくる。 ＜一斉学習＞ ○「のりものずかん」を紹介し合い、感想を伝え合う。	・自分が選んだ乗り物(自動車)の図書資料